

つづき あい 通信

「つづき あい通信」は、都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」※を推進する地域の取組や、関連情報を紹介する計画情報誌です。

※裏表紙に詳細を説明しています

今号の内容

他の地区ではどんなことを？
何を話し合っているの？

地域懇談会のテーマと内容について

第4期計画策定に向けて

都筑区地域福祉保健計画の これまでとこれから

第23号



つづきあい計画



令和元年度 おたがいさま会紹介寸劇(かちだ)



平成30年度 防災対応クロスロード(佐江戸加賀原)



平成30年度 地域懇談会(中川)



平成30年度 ウォーキングMAP(山田)

都筑区地域福祉保健計画について

地域福祉保健計画策定の目的は、地域の皆さん、都筑区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザそして区役所の4者が協力して、誰もが安心して自分らしく健やかに暮らすことのできる地域社会を実現していくことです。都筑区で策定している都筑区地域福祉保健計画では、人と人との「であい ささえあい わかちあい」を基本理念とし、「であいが広まり、お互いにささえあい、地域がもつ力をわかちあえる地域づくり」を目指す姿としています。

他の地区ではどんなことを？
何を話し合っているの？

第3期都筑区地域福祉保健計画期間中の各地区における地域懇談会のテーマと内容について

都筑区15地区 | 東山田 | 山田 | 中川 | 勝田茅ヶ崎 | かちだ | 新栄早淵 | 都田 | 池辺 | 佐江戸加賀原 | 川和 | 荏田南 | 渋沢 | 茅ヶ崎南MGCRS | ふれあいの丘 | 柚木荏田南

テーマと内容 (平成28年度～令和元年度)

…平成28年度 …平成29年度 …平成30年度 …令和元年度

地区	エリア	テーマと内容
東山田	東山田一～四丁目、東山田町	H28 [1]「ラジオ体操」活動を普及・推進しよう [2] 外出の機会が増えるよう、お茶飲み会・趣味の会等「ちょっと立ち寄れる場」づくりに努めよう これからは高齢社会に対応する地域作りが重要。生活習慣病予防など個人の健康維持のみならず、お互いを支え合う活動に広げていくことを目標として話し合いを行いました。ラジオ体操や立ち寄れる場の先行事例を紹介し、全町内会でこのような取組ができるための課題を洗い出し、目標達成に向けて場所や担い手等の情報交換を行いました。
		H29 外出の機会が増える「ちょっと立ち寄れる場」づくり 昨年度取り組んだラジオ体操の取組が各町内会に定着したことから、今年度は、ちょっと立ち寄れる場作りについて話し合いを行いました。こんな場所があれば立ち寄ってみたい、それを実現するためにはどんな担い手が必要か、どんな場所が必要かについて意見を出し合い、各町内会が懇談会をきっかけに場作りに動き出しました。
山田	北山田一～七丁目、すみれが丘、南山田一～三丁目、南山田町	H28 誰もが健康的な生活を送ることができるような健康づくりの取組について 北山田 高齢化を視野に入れ、住み続けたい街にするためには何が重要か 南山田 ヘルスチェックや健康診断の受診だけでは足りないのではないかと すみれが丘 個人や町内会で現状行っている健康づくりの取組を洗い出し、どこに課題があるのか 新たな5年間の地域福祉保健計画が始まり、山田地区として、誰もが健康的な生活を送ることができるような健康づくりの取組について、現状の課題から今後どうするかを考えました。
		H29 誰もが健康的な生活を送ることができるような健康づくりの取組について Part-2 町内会ごとにテーマを深く掘り下げ、すでにやっていること、今後あったらいいなと思うことについて話し合いました。 北山田 「たてる君」を使った健康づくりPR等 南山田 語り歩こう会、ラジオ体操、健康マージャン等 すみれが丘 ウォーキング講習会、認知症予防セミナー等 地域懇談会は回数を重ねるごとに、意見も活発化してきて、和やかな雰囲気で行われるようになってきました。
中川	あゆみが丘、牛久保一～三丁目、牛久保町、牛久保西一～四丁目、牛久保東一～三丁目、大柵町、大柵西、中川一～八丁目、中川中央一・二丁目	H29 楽しみながらの健康づくりと活動を通じた見守りを進めよう 地区別計画の目標の1つである、健康づくり分野について意見交換をしました。中川地区にある多くの健康づくりの活動を共有しました。子どもたちや家族ぐるみでできる健康づくりの活動があること、いろいろな活動も健康づくりにつながっていることを確認しました。
		H30 中川地区の子どものことを話そう！ 地区別計画の目標の1つである子ども分野について意見交換をしました。中川地区のデータについての報告後、町内会自治会ごとにグループに分かれ、子どもに関する活動について意見交換をしました。発表の時間では、それぞれの地区についての話を聞くことができ、共有できました。
勝田茅ヶ崎	勝田町、勝田南一・二丁目、茅ヶ崎中央、茅ヶ崎町、茅ヶ崎東一～五丁目、茅ヶ崎南一～五丁目	H28 第3期地域福祉保健計画 勝田茅ヶ崎地区別計画の3つの目標について、具体的に何をしていくかを、皆さんで考えましょう！ 新しい地区別計画に掲げた目標について、どんな取組をするといいの、3つの目標ごとに感じていること・考えていることを出し合いました。「町内会未加入でも地域のイベントに参加できるしくみを考えてはどうか」「まずは、あいさつ」「子どもたちが地域とつながれる場をつくる」「一度に多くの取組は困難。優先順位をつけながらやれるといい」といった意見が出ました。
		H30 勝田茅ヶ崎地区別計画の現状と今後に向けて 主に地区別計画の目標1と2について、前年の地域懇談会で出た意見を参考にグループワークを行いました。「マンションが多く、住民同士顔が見えづらい」「夫婦のみや共働き家庭は町内会に入るきっかけがない」といった課題が出る一方、「スマートフォンやフェイスブックの活用等、若い人を意識した情報発信も必要」「子どもをイベントに誘うと、おのずと親がついてくるから、そこでつながれる」といった斬新な視点での意見もありました。
かちだ	勝田団地	H29 この地域で、認知症の人に対してできること 「認知症の人が増えてきているので、個人や地域でできることを懇談会で考えたい」という声から、意見交換を行いました。「家族が認知症であることを隠してしまい、外出させない」「徘徊する人への対応が難しい」等の課題がある一方で、「やさしく接する」「サロンやラジオ体操等地域の活動に誘う」「民生委員やケアプラザへの相談を勧める」「さりげない見守り・声かけ」「地域活動で何か役割を持ってもらい、地域との接点があればサポートもしやすい」等、前向きな意見が出ました。
		H30 「緊急連絡先カード・あんしんカード」「安否確認訓練」について、振り返ろう！ 緊急連絡先カード・あんしんカードや訓練があまり機能していないのでは？といった危機感が地域の方から挙げられ、災害対策DVDを視聴するミニ研修の後、4グループで意見交換を行いました。危機感をもったきっかけや場面・現状が各グループで共有され、転入してくる方への周知や普段からの声かけの重要性などが再認識されました。また、「役員をやることで活動の意味が分かる」といった頼もしい意見も出ました。
東山田	東山田一～四丁目、東山田町	H30 ちょっと立ち寄れる場(カフェ)の継続・発展を目指して 今年度、東山田各地区に「ちょっと立ち寄れる場(カフェ)」を立ち上げることができました。今後、カフェを継続的に運営するための課題や工夫について、古くから運営している四丁目地区(さわやか茶話会)と、始めて間もない三丁目地区の方からの話を聞いて、各地区のカフェを末永く継続していくための工夫や取組を話し合いました。
		H30 誰もが健康的な生活を送ることができるような健康づくりの取組 Part-3 ～進捗と新たな命題～ 今までやってきた取組を振り返り、さらなる取組推進のため、今後何をするかを考えました。 北山田 歩数計を有効活用した楽しみながらできる健康づくりをテーマに、ウォーキングの楽しめる場所を検討し、マップのルートを作成する。 南山田 早朝のラジオ体操等の健康づくりに効果的な取組を積極的にPRし普及していく。 すみれが丘 健康寿命を延ばす取組。ウォーキング講習会などの口コモ予防を進める。
中川	あゆみが丘、牛久保一～三丁目、牛久保町、牛久保西一～四丁目、牛久保東一～三丁目、大柵町、大柵西、中川一～八丁目、中川中央一・二丁目	R1 ①「健康寿命を延ばそう」 ②「見守りの情報共有をしよう」 主に地区別計画の目標1と3について取り上げました。①では、中川地区で行われている健康づくりの活動について再確認し、いろいろなお話へ参加することで健康寿命が延びていく可能性があることを共有しました。②では、赤ちゃん会を例に、すでにあるもの、自然なつながりを活かしたゆるやかな見守りについて情報共有をしました。
		R1 勝田茅ヶ崎地区別計画をさらに進めていくために 地区別計画の目標1と目標3を中心に町内会ごとにグループワークを行いました。目標ごとに「やっていること」「やってどうだったか」「今後やってみたいこと」を出し合い、振り返りを行いました。特に「やってみたいこと」では、「清掃活動は意外と顔が知れる。つながりづくりに活用できないか」「負担が大きくてやめてしまった運動会を復活させたい」「防災スタンプラリーの実施」等、活動しているからこそ見えるアイデアが出てきました。
かちだ	勝田団地	R1 第4期の地区別計画づくりに向けて、これまでの取組を振り返ろう 第4期地区別計画づくりに向けて、「これまでやってきたこと」「やってどうだったか」「今後取り組みたいこと」についてグループごとに話し合いました。冒頭、第3期計画期間中に新たに始まった「買い物等を支援するボランティアの取組(おたがいさま会)」について寸劇で紹介、ラジオ体操や介護予防の取組についても紹介がありました。多くの取組がされているだけに、課題もいくつか出されましたが、「参加してわかる楽しさをもっと多くの人と共有したい」等、今後に向けた意欲的な意見も出ました。



ちょっと立ち寄れる場「チャコ村」



健康チェック用の台 たてる君



子どもに関する活動

第3期都筑区地域福祉保健計画期間中の
各地区における地域懇談会のテーマと内容について

地区	エリア	テーマと内容 (平成28年度～令和元年度)		
		…平成28年度	…平成29年度	…平成30年度
新栄早淵	新栄町、早淵一～三丁目	<p>H29 新栄早淵地区災害時要援護者支援ボランティアの役割・できること</p> <p>災害時要援護者を見守り支えるボランティアに、今後どんな役割や活動を担っていただくか、またボランティア活動を支えるために地域ができることは何か、について話し合いました。「要援護者とボランティアが普段から顔見知りでない、いざという時声をかけられない。顔合わせ会を持ちたい」「要援護者・ボランティア双方にアンケート調査をしてはどうか」「この取組をもっと地域の人に知ってもらうことも必要」といった意見が出ました。</p>	<p>H30 やって良かった地域の活動や町内会の活動、地域の良さを再発見しよう！</p> <p>「地域活動の良さをみんなで再認識したい」との思いから、話し合いを行いました。「今まで知らなかった地域のこと・人が見えてきた」「イベントを通じてつながりが持てる」など、良さを感じている人が多かったです。また、地域の緑道に愛着を抱く人も多く、「緑道が地域をつないでくれている」といった発言や「多くの人に親しまれている緑道を使って、何か地域につながるイベントをできないか」といった新たな取組への意見も出ました。</p>	<p>R1 第4期の地区別計画づくりに向けて、これまでの取組を振り返ろう</p> <p>今までやってきたこととして、イベントや防犯・清掃活動を通じた関係づくりや健康づくりの取組、公園遊びや木工教室等こども向けの取組があり、「こんなにたくさんやったのね…」という声もありました。取組に関わっている人からは、活動のPRも兼ねた取組紹介もあり、「今度参加してもいい?」「どうしたらそんなに人が集まるのか教えてほしい」といった、担い手ならではの声も聞かれました。今後に向け「男性の参加者を増やしていきたい」「活動情報の交換会をやりたい」等、意欲的な意見も出ました。</p>
都田	大熊町、折本町、川向町、桜並木、長坂、仲町台一～五丁目、東方町、平台	<p>H28 それぞれの活動を出し合うことで、今年度取り組むことは何かを考えよう！</p> <p>地区別計画の3つの目標ごとに、地域関係者が意見交換を実施。それぞれの分野で、今ある活動を出し合いました。そのなかで、各地区の特色など、都田地区のいいところの意見も多く出て、共有できました。</p> 	<p>H29 それぞれの活動を出し合うことで、今年度取り組むことは何かを考えよう！</p> <p>健康づくりの分野では、「集って」「みんなで」健康づくりの活動を行うことの大切さを確認しました。一方で、何らかの事情で出かけにくい人もいるということも共有しました。見守り支えあいの分野では、現在行っている見守りの取組を共有しました。また、「集う」ことも見守りにつながっていることを確認しました。</p>	<p>H30 第3期都田地区地域福祉保健計画の中間振り返りをしよう！</p> <p>話し合いを重ねてきた、都田地区地域福祉保健計画のキャラクター「小松菜hairのみやこちゃん」とスローガン「“都田”ってあったかいじゃん。」の発表を行いました。3つの目標の分野ごとに分かれて、中間振り返りを行いました。意見交換では、「こうなったらいいな」ということと、その実現に向けてのアイデアを出し合いました。</p>  <p>みやこちゃん</p>
池辺	池辺町	<p>H28 池辺の地区別計画について、さまざまな意見交換をしましょう～第3期都筑区地域福祉保健計画の池辺地区別計画のこれから～</p> <p>地区別計画に掲げている3つの目標ごとにグループを分けて意見交換をしました。今池辺で行っているさまざまな地域活動について話し合い、みんなで共有することができました。また、平時は感じなくても、日頃の思いやりや気付きあいが大切であるということを確認できました。</p> 	<p>H29 池辺で行われているさまざまな取組と地区別計画について</p> <p>日頃から感じていること、活動の課題やこれからの地域に必要なことについて、自由な意見交換をしました。多くの地域活動で顔の見える関係づくりはできているが、自宅の近くに集まれる場があればよいといった意見や、身近な向こう三軒両隣の気づき合いができていくとよい、といった意見が出ました。その後、各自治会エリアでのサロン開催が広がっています。</p>	<p>H30 「向こう三軒両隣・隣近所でのささえあい」アンケートの結果報告と池辺地区別計画の推進について</p> <p>平成30年6月に実施したアンケートの結果の速報と、それを受けて今後どういった取組が必要とされているのかを話し合いました。このアンケート結果をうけ、希望する人を対象としたボランティアによる見守り活動「池辺町見守り絆づくり事業」が始まりました。</p> 
佐江戸加賀原	佐江戸町、加賀原一・二丁目	<p>H28 「支えられる人も支える人になれる」「遊んで遊んで、いま子どもでいる幸せを味わう」をテーマに、語り合おう！</p> <p>地区別計画の取組の中の2つのキーワードについて、自由な意見交換を実施しました。地域の取組がたくさんあることに初めて気付くとともに、自分が地域を知らなかったということにも気が付いた、といった意見がありました。また、居場所づくり、仲間づくり、健康づくりが大事であるという声も聞かれました。</p>	<p>H30 あなたならどうする？ 災害時の究極の選択！～ジレンマ場面で学ぶ災害対応クロスロードゲーム～</p> <p>災害時の思いもよらないような「決断すべき場面」に遭遇した時の選択をする「クロスロードゲーム」を行いました。参加することで、災害の対応を自分の問題として考えることができ、また、自分とは異なる意見・価値観の存在への気づきも得られました。楽しく、真剣に、災害対応について学びました。</p>  <p>クロスロードゲームのカード</p>	<p>R1 一緒につくろう 三世代交流会 ～参加者も役員も楽しめる「三世代交流会」にするにはどうしたらよいか、自由に意見交換をしましょう～</p> <p>「三世代交流会」を例にとり、「より多くの人に関わるにはどうしたらいいか」「活動の担い手となることの楽しさ・魅力を伝えるには」をテーマに意見交換しました。このテーマは、自治会町内会の加入・役員の問題やお祭りなどにも置き換えて考えることができます。この地域懇談会での意見を受け、その後の三世代交流会の打合せは、各団体による活発な意見交換の場となりました。</p>
川和	川和町、川和台、二の丸	<p>H28 第3期地域福祉保健計画 川和地区別計画について～取組の優先度と今後の活動について、具体的に考える～</p> <p>川和地区別計画に掲げた目標の中で優先すべき取組を考え、その取組に対する今後の具体的な活動について、さまざまな意見を出し合いました。この懇談会の結果と合わせ、第2期計画から継続して取り組んでいる「そなえマップの更新」や「川和連合ふれあいたいの活動の充実」などにも取り組みました。</p>	<p>H29 地域でつくりあげる「地域ケア会議（※現「つながり♡ネット）」～地域ケア会議を推進するため、誰が、いつまでに、何をするか、を考える～</p> <p>支援が必要な人をどう地域で支えていくか、皆で話し合いながら課題を解決していく体制（つながり♡ネット）について、説明・事例紹介がありました。その後、この体制をどのように進めていくかについて意見交換を実施。多くの課題が出ましたが、引き続き地域全体で取り組んでいくこととなりました。</p>	<p>R1 第3期川和地区地域福祉保健計画の進捗状況と第4期計画の策定に向けて</p> <p>第3期計画取組の進捗状況を確認するとともに、第4期計画に向けて現状の活動をどのように進めていくとよいか、新たに取り組むべき課題などについて意見交換を行いました。第3期計画の取組を振り返ることで、第4期に向けた地域の取組の方向性について整理することができました。</p>

第3期都筑区地域福祉保健計画期間中の
各地区における地域懇談会のテーマと内容について

地区	エリア	テーマと内容 (平成28年度～令和元年度)		
		…平成28年度	…平成29年度	…平成30年度
荏田南	荏田南一～三丁目、大丸	H28 防災と福祉について ～自治会単位での連携について～ 参加者が所属自治会でされている災害時要援護者支援事業の取組を把握できるよう話し合いを行いました。発表では、各自治会の取組を共有でき、それぞれの自治会の取組の参考になりました。 	H29 震災時に荏田南地区としてどう動くか 東日本大震災の復興支援を行っている方の話を聞き、その上で、震災時に荏田南としてどう動くのかを話し合いました。日頃の関係が大事、取組の共有もしたい、といった意見が出されました。 	H30 顔の見える関係をさらに広げよう! 夜間訓練の中で再確認された、「日頃からの顔の見える関係」をさらに広げていくために、取り組みそうなこと、さらに充実させられそうなことについて、意見を出し合いました。意見交換前には、会場の照明を落とす時間をつくり、出席者にも「日頃からの顔の見える関係」の大切さを体感してもらいました。 
		H28 第3期計画の目標を進めるために ～みんなでアイデアを出し合おう～ 第3期計画の目標ごとの取組をどう進めるのかについて、アイデアや意見出しをしました。すでにできていることの共有や、日頃からのあいさつや身近な活動が大切であることを再確認しました。 	H29 第3期計画目標2「集える場所を充実させよう！」 渋沢地区でどのような集える場所があるかを挙げていきました。その後、自治会ごとに分かれて、どのように取り組んでいくかを話し合いました。集える場所はあるが、さまざまな理由でそこになかなか来られない人もいるということも共有できました。 	H30 第3期渋沢地区地域福祉保健計画の中間振り返りをしよう! 計画3年目の中間振り返りとして、今まで行ってきた取組について話し合い、共有をしました。多くの取組をしてきたことが共有できて、日頃からの声かけや、集いの場への誘い合いをさらにしていこうという意見が出ました。 
茅ヶ崎南MGCRS	メゾンふじのき台、港北ガーデンホームズ、クレストヒルズ、ルネサンスガーデンセンター南、グランスイートセンター南	H28 新しい地域福祉保健計画を共有しよう! 毎年多くの役員が1年で交代するため、地区別計画について「まずは知ってもらうことが大事」と考え、地区別計画の3つの目標とその取組について説明を行いました。子どもに関する取組についての意見交換では、「参加している子どもたちは、防災訓練であっても楽しそう。こういう機会を増やしてあげたい」「毎年開催される夕涼み会は、子どもと地域がつながる貴重な機会」といった意見が出されました。	H29 この1年の取組について共有し、意見交換しましょう 地区別計画を知ってもらうため、3つの目標とその取組について、地域で作成した資料をもとに、昨年1年間で取り組んだことの報告を行いました。意見交換の場では、「民生委員は児童委員でもあるので、子どものことも取り組んでいきたい」「地区別計画のメリットが伝えられるといい」「地区別計画は各自自治会の取組をつなぐ“横ぐし”のようなものかと考えている」といった意見・感想が出ました。	R1 この1年の取組を共有し、意見交換しましょう 地域で作成した資料に沿って、地区別計画とその取組報告、第3期計画期間中に新たに始まった取組の紹介がありました。子ども・高齢者等いろいろな世代の人たちの交流の場として「憩いの場」の新設、地域の中でのつながりを増やすために「子育て」「子ども」「大人」の各クリスマス会の開催等、さまざまな場を活用したつながりづくりが進んできました。「見守られていることが実感できるような地域にしたい」といった前向きな意見もありました。
		H28 地区別計画の推進のために意見を出し合おう ふれあいの丘地区地域福祉保健計画に掲げられている目標ごとに、取組に関係する活動を具体的に出し合いました。また、課題についても話し合い、解決方法についての意見交換もしました。地域において、これから進めるふれあいの丘地区地域福祉保健計画の共有ができました。	H29 「互助会」活動の立ち上げに向けて意見を出し合おう 「互助会」活動の立ち上げに向けて、全戸配布アンケートの案や互助会会則の案を確認し、「互助会」活動に関する意見やアイデアをグループに分かれて出し合いました。そこで出された意見を参考にして、平成30年度にふれあいの丘ほっとボランティアの会が立ち上がりました。 	R1 第3期ふれあいの丘地区地域福祉保健計画の振り返りをしよう! 第3期ふれあいの丘地区地域福祉保健計画の目標ごとに、「できていること」「十分には取り組めなかったこと」「もっとこうしていけたらと思うこと」について話し合いをしました。ここでの話し合いをまとめて、第4期ふれあいの丘地区地域福祉保健計画の策定に活かしていきます。
ふれあいの丘	葛が谷、高山、富士見が丘、見花山	H28 地域の取組を共有しよう 地域懇談会の参加者自身が行っている活動や地域で行われている活動について話し合いました。そして、それらが柚木荏田南地区地域福祉保健計画の目標の取組のどこにあてはまるのかを確認し、それぞれの活動が計画に結びついていることを認識しました。日頃の活動が計画の推進につながっていくことを共有しました。	H29 地域の子どもたちが健やかに育つ地域にしよう! 「子育て支援の場をつくりたい!」という地区社会福祉協議会(以下、地区社協)の思いから、自治会長や地区社協、民生委員、子育て当事者であるママたちなど地域の方が一堂に集まり、話し合いをしました。その結果、ママたちが自主的に考えて企画をする地区社協の子育て支援事業「にっこり組」が誕生しました。 	H30 高齢者が安心して暮らせる地域にしよう 高齢者が安心して暮らせる地域にするために、主に高齢者の見守り・防災・防犯について話し合いをしました。日頃からの顔の見える関係が、見守りにつながっていることや災害時や防犯にも役立つことを確認しました。 
		H28 地域の取組を共有しよう 地域懇談会の参加者自身が行っている活動や地域で行われている活動について話し合いました。そして、それらが柚木荏田南地区地域福祉保健計画の目標の取組のどこにあてはまるのかを確認し、それぞれの活動が計画に結びついていることを認識しました。日頃の活動が計画の推進につながっていくことを共有しました。	H29 地域の子どもたちが健やかに育つ地域にしよう! 「子育て支援の場をつくりたい!」という地区社会福祉協議会(以下、地区社協)の思いから、自治会長や地区社協、民生委員、子育て当事者であるママたちなど地域の方が一堂に集まり、話し合いをしました。その結果、ママたちが自主的に考えて企画をする地区社協の子育て支援事業「にっこり組」が誕生しました。 	H30 高齢者が安心して暮らせる地域にしよう 高齢者が安心して暮らせる地域にするために、主に高齢者の見守り・防災・防犯について話し合いをしました。日頃からの顔の見える関係が、見守りにつながっていることや災害時や防犯にも役立つことを確認しました。 

都筑区地域福祉保健計画のこれまでとこれから

平成18～22年 第1期計画	平成23～27年 第2期計画	平成28～30年 令和元年～2年 第3期計画	令和3年～ 第4期計画
-------------------	-------------------	---------------------------	----------------

都筑区役所

第1期計画では「であい」をつくり、人のつながりを広げることを目指しました。計画発表会や地域懇談会は地域の情報共有や課題解決の場として定着しました。

第2期計画では、つながりづくりが進むと同時に、災害時要援護者支援の取組による「ささえあい」の仕組みづくりに取り組みました。

現在は第3期計画期間中ですが、地域の特長や課題に応じた住民主体による多様な取組や見守り活動が進んできています。

第4期計画では、地域が持つ力や地域活動の喜びをわかちあえる、そんな地域づくりを目指していきたいです。



都筑区内地域ケアプラザ※

これまで地域ケアプラザでは、顔の見える地域づくりや幅広い住民参加での活動により取組の輪を広げ、必要な人に支援が届く仕組みづくり、地域のつながりづくりを地域のみならずと一緒に取り組んでまいりました。

今後については、これまでの取組を継続するとともに、身近な相談窓口として地域の福祉拠点のネットワーク機能がある強みを活かし、地域のみならずと職員との連携意識のアンテナを高めながら、個別・地域課題の解決への支援に取り組みます。また、個別課題が多様化するなかで成年後見制度の利用促進や生活困窮者自立支援制度への取組についても推進してまいります。

※横浜市加賀原地域ケアプラザ、横浜市葛が谷地域ケアプラザ、横浜市新栄地域ケアプラザ、横浜市中川地域ケアプラザ、東山地域ケアプラザ



都筑区社会福祉協議会

第2期までは、地域福祉活動計画を区社会福祉協議会が、地域福祉保健計画を区役所が策定していました。第3期からは2つの計画が一体的になり、より包括的な計画になりました。

また、区社会福祉協議会では、地区社会福祉協議会をはじめ、地域で活動している福祉保健団体やボランティアグループと協働して、多様な主体による社会参画や様々なニーズに対応できる地域づくりの構築を目指しています。社会福祉協議会の強みでもあるネットワーク力を活かし、地域福祉の推進を行っています。



地域

令和元年8月29日に行われた「都筑区連合町内会自治会研修会」では、第3期計画を進める中で見えてきた課題(①担い手不足②見守り・つながりづくり③情報発信)や取組について、意見交換を行いました。

普段地域で福祉保健活動を進める中では把握できない、自分の地区以外の取組について、知る良い機会となりました。

さまざまな地区の取組や、現在取組を進めていく上で大切にしている思い、工夫などを知ることにより、今後の地域福祉保健活動の参考となりました。



「つづき あい基金」助成金助成団体が決定しました

「つづき あい基金」は都筑区地域福祉保健計画を推進するため、地域福祉活動への助成及び計画PRを目的として設置したものです。都筑区チャリティーゴルフ大会の収益等を中心に、区民・企業等からの寄付を基にした善意銀行からの配分金や、区役所からの補助金を原資として都筑区社会福祉協議会が運営しています。令和元年度は、15団体が助成金を活用し、活動しています。

【助成金助成団体】

- ・大正琴と歌唱教室(茅ヶ崎南MGCRS)
- ・ふれあいウォーキング(ふれあいの丘)
- ・ふれあいの丘駅周辺防犯パトロール(ふれあいの丘)
- ・健幸ラジオ体操(かちだ)
- ・荏田南どんぶりカフェ(荏田南)
- ・ボランティアグループほほえみの会(葛が谷地域ケアプラザエリア)
- ・バランス講座(池辺)
- ・ファミリーカフェ(区域)
- ・むかし遊びたのしみ隊(渋沢)
- ・こども将棋教室(渋沢)
- ・ブチおしゃれ教室(茅ヶ崎南MGCRS)
- ・柚木荏田南スポーツ吹矢(柚木荏田南)
- ・アーモンドこども食堂(区域)
- ・若返り体操サークル(都田)
- ・料理教室(茅ヶ崎南MGCRS)

